

**2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部 政治学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 バイロイト大学 言語学部 ドイツ学科
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 10月 1日 ～ 2020年 3月 31日 出国日 2019年 9月 25日 最終帰国日 2020年 4月 2日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

到着後は話すことに不慣れでうまく意思疎通ができず苦労しましたが、授業を受けたり語学学校に通う中で、ネイティブとの会話もそうですが、他の国からの留学生の母語の訛りが入ったドイツ語も沢山会話するうちに聞き取れるようになりました。後半はドイツ語を話すことにも抵抗がなくなり、会話に緊張しなくなったことも実感しました。やっと耳や頭がドイツ語に慣れてきたかなというところで早期帰国となってしまったため心残りはありますが、留学前より語学の学び方や習得の過程がわかったように思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

ドイツ語はもちろんのこと、英語の会話の練習ももっとしていけばよかったと思います。ドイツ語で言いたいことが伝えられない時、英語で説明できるととても便利です。ドイツ人は英語が堪能な人が多いので、ドイツ語勉強のための補助として英語が役立ちます。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

前期は語学学校で語学力の向上に専念し、後期で大学の授業をたくさん取ろうと考えてい

たので結果的に大学の授業はほとんど取れませんでした。日本の学生もドイツの学生も話す言葉が違うだけであまり授業態度に差はないと思いました。講師陣に対しても同様です。授業の形式は参加型やグループワークが多く、様々な人と交流できるという点で飽きることなく面白かったです。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

新しく綺麗な施設が多い印象でした。特に図書館は自習できるスペースが多く、集中できる環境が整えられていると思います。また、キャンパス内は広いので自転車移動が便利でした。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生向けのドイツ語の授業が週に二回あります。学期始めに語学能力テストがありその結果でクラスが分けられます。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

国際センターに日本語ができる職員が一人おり、手続き関係で本当に困ったことがあればその方に日本語で相談できます。留学生向けのイベントは沢山あります。イベントは街の中で簡単なミニゲームをやるものだったり、新入生でパブをはしごするものだったり、様々です。お酒が得意な方は、どんなイベントにも参加できるのではないのでしょうか。もちろんお酒が飲めなくても参加できるイベントは沢山あります。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

バイロイトは小さな街ですので、治安は良好です。夜に街を歩くこともありましたが、危険を感じたことはありません。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
ドイツ語基礎コース(4)	

--	--

3. 宿舎について

(1) 種類

○大学の寮／アパート／ホームステイ／その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 202 ユーロ、(日本円) 約 22,000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕)／○自炊／その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

○徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他 ()、計 8分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

家賃が安く、風呂・トイレが自室についているのはよかったです。ただ、キッチンが共用だったので、他の人の調理器具の扱い方が気になったりシンクにある洗い物をなかなかしてくれない人がいたり、共同利用のデメリットは感じました。しかし、自炊は簡単なものしかなかったので、概ね満足でした。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

○飛行機／船舶／その他 ()、(日本円) 約 200,000 円

(3) 生活費

(現地通貨) ○月額・年額 約 400 ユーロ、(日本円) 約 42,000 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／○クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード／○現金／その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

どのお店でもクレジットカードが使えるので便利でした。口座を作ってから銀行のキャッシュカードが支払いに使えるためほとんどそれで支払いはしていました。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

全額:往復航空券代

5. 保険について

(1) 保険会社名

Techniker Krankenkasse、東京海上日動海外旅行保険

(2) 保険料

105.80 ユーロ、127,570 円(早期帰国のため 54,300 円返金されました)

(3) 加入した保険の種類、内容

学生保険、海外旅行保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

特に医療機関にかかったり貴重品を紛失するといったこともなかったためそういった時の対応はわかりませんが、加入手続きはスムーズにできました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

○手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

常備薬、日本語の参考書

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

特になし

(4) 持って行けば良かったと思う物

日本語の本

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

午前中は大学の図書館やジムに行ったり、履修はしていないが興味のある授業に出席するなどしていました。午後からは語学学校の授業があり、それに出席していました。語学学校は平日五日間毎日授業があるものと毎週火曜日の夕方に授業があるものの二つに行っていたので、火曜日の夕方はもう一つの語学学校に行き、月曜日と木曜日は大学のドイツ語の授業に行っていました。他の曜日の夕方は語学学校の課題をしたり、友人と一緒に夕食を作ったりするなどして過ごしていました。

(2) 週末

週末は友人たちと集まったり、市外へ出かけたりしていました。一泊二日で旅行に行くこともありました。語学学校では毎月テストがあったので、テスト前は土日も勉強に専念していました。

8. 後輩へのアドバイス等

最初は留学が漠然と不安かもしれませんが、ドイツは基本的に住みやすい国ですし、すぐに適応できると思います。ただ、留学に必要な手続きは日本と比べると対応が雑なところがあり、苦勞するかもしれません。早め早めに行動することが大事です。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。